



# 平成21年度学校基本調査の集計結果（確定値）

統計解析No.37

## I はじめに

文部科学省所管の平成21年度学校基本調査集計結果（確定値）について紹介します。

この調査は、学校に関する基本的項目である学校数、在学者数、教職員数、卒業後の進路などの状況を明らかにし、教育行政上の基礎資料を得るため、学校教育法で規定している幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、大学、高等専門学校、特別支援学校、専修学校及び各種学校を対象として行われる基幹統計調査であり、毎年5月1日現在で実施されています。

なお、この集計結果は京都市が集計した結果であり、文部科学省が公表している結果と相違することがあります。

## II 幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、専修学校及び各種学校の状況

### 1 園児・児童・生徒数の推移

幼稚園の園児数は減少傾向にあり、前年度から443人減の16,364人となりました。

前年度わずかに増加した小学校の児童数は、21年度は765人減少し、72,539人となりました。一方、中学校の生徒数は736人増加し、39,769人となりました。

高等学校の生徒数は減少が続いており、前年度から122人減の42,390人となりました（表-1及び図-1参照）。

表-1 園児・児童・生徒数の推移

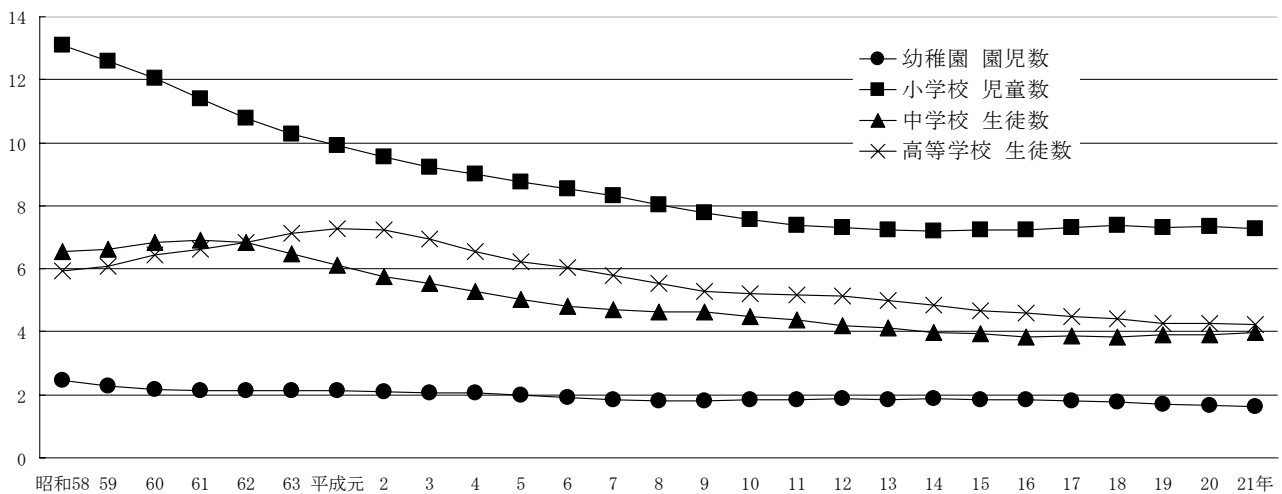
(単位：人)

年 度	幼稚園 園児数	小学校 児童数	中学校 生徒数	高等学校 生徒数
昭和 59年度	22,868	125,763	66,377	60,774
60年度	21,694	120,319	68,247	64,301
61年度	21,310	114,090	68,950	66,292
62年度	21,254	107,896	68,287	68,355
63年度	21,349	102,781	64,863	71,219
平成 元年度	21,187	98,990	61,061	72,579
2年度	21,024	95,406	57,593	72,362
3年度	20,679	92,342	55,354	69,367
4年度	20,451	89,935	52,931	65,600
5年度	19,774	87,673	50,409	62,330
6年度	19,329	85,353	48,087	60,286
7年度	18,453	83,242	47,165	57,827
8年度	18,177	80,367	46,430	55,375
9年度	18,229	77,739	46,158	52,880
10年度	18,602	75,565	44,993	52,147
11年度	18,595	73,935	43,811	51,659
12年度	18,668	72,942	41,970	51,342
13年度	18,317	72,302	41,214	50,047
14年度	18,645	71,946	39,913	48,434
15年度	18,351	72,232	39,421	46,759
16年度	18,279	72,272	38,421	46,018
17年度	18,097	72,973	38,721	45,026
18年度	17,819	73,642	38,487	44,181
19年度	17,183	73,223	39,163	42,865
20年度	16,807	73,304	39,033	42,512
21年度	16,364	72,539	39,769	42,390

は表中ピークの数値

図-1 園児・児童・生徒数の推移

(万人)



表－２ 学校数、教員数及び園児・児童・生徒・学生数

(単位：学校数＝校、園数＝園、教員数、園児・児童・生徒・学生数＝人)

種別	年度	学校(園)数	教員数				園児・児童・生徒・学生数			1校当たり園児・児童・生徒・学生数	1教員(本務者)当たり園児・児童・生徒・学生数
			本務者			兼務者	総数	男	女		
			総数	男	女						
幼稚園	平成17年度	124	1,160	69	1,091	78	18,097	9,131	8,966	145.9	15.6
	18年度	124	1,168	72	1,096	90	17,819	8,986	8,833	143.7	15.3
	19年度	124	1,164	74	1,090	94	17,183	8,605	8,578	138.6	14.8
	20年度	124	1,158	72	1,086	87	16,807	8,393	8,414	135.5	14.5
	<b>21年度</b>	<b>124</b>	<b>1,173</b>	<b>80</b>	<b>1,093</b>	<b>99</b>	<b>16,364</b>	<b>8,200</b>	<b>8,164</b>	<b>132.0</b>	<b>14.0</b>
小学校	平成17年度	(3) 195	3,909	1,489	2,420	399	72,973	37,225	35,748	374.2	18.7
	18年度	(3) 197	4,040	1,535	2,505	412	73,642	37,516	36,126	373.8	18.2
	19年度	(3) 195	4,158	1,582	2,576	539	73,223	37,246	35,977	375.5	17.6
	20年度	(3) 195	4,218	1,596	2,622	525	73,304	37,240	36,064	375.9	17.4
	<b>21年度</b>	<b>(3) 195</b>	<b>4,217</b>	<b>1,568</b>	<b>2,649</b>	<b>495</b>	<b>72,539</b>	<b>36,926</b>	<b>35,613</b>	<b>372.0</b>	<b>17.2</b>
中学校	平成17年度	(1) 107	2,576	1,601	975	522	38,721	19,290	19,431	361.9	15.0
	18年度	(1) 107	2,578	1,577	1,001	562	38,487	19,221	19,266	359.7	14.9
	19年度	(1) 102	2,685	1,613	1,072	604	39,163	19,629	19,534	384.0	14.6
	20年度	(1) 102	2,724	1,630	1,094	616	39,033	19,517	19,516	382.7	14.3
	<b>21年度</b>	<b>(1) 102</b>	<b>2,782</b>	<b>1,672</b>	<b>1,110</b>	<b>615</b>	<b>39,769</b>	<b>19,824</b>	<b>19,945</b>	<b>389.9</b>	<b>14.3</b>
高等学校	平成17年度	53	3,095	2,260	835	1,148	45,026	22,549	22,477	849.5	14.5
	18年度	53	3,101	2,252	849	1,112	44,181	22,017	22,164	833.6	14.2
	19年度	53	3,084	2,232	852	1,110	42,865	21,482	21,383	808.8	13.9
	20年度	53	3,090	2,210	880	1,154	42,512	21,275	21,237	802.1	13.8
	<b>21年度</b>	<b>53</b>	<b>3,079</b>	<b>2,178</b>	<b>901</b>	<b>1,113</b>	<b>42,390</b>	<b>21,258</b>	<b>21,132</b>	<b>799.8</b>	<b>13.8</b>
特別支援学校 a)	平成17年度	11	796	366	430	50	1,163	728	435	105.7	1.5
	18年度	11	825	381	444	55	1,204	745	459	109.5	1.5
	19年度	11	854	379	475	63	1,219	771	448	110.8	1.4
	20年度	11	847	373	474	65	1,256	807	449	114.2	1.5
	<b>21年度</b>	<b>11</b>	<b>884</b>	<b>395</b>	<b>489</b>	<b>63</b>	<b>1,288</b>	<b>825</b>	<b>463</b>	<b>117.1</b>	<b>1.5</b>
専修学校	平成17年度	56	732	388	344	1,839	13,981	7,169	6,812	249.7	19.1
	18年度	56	734	394	340	1,874	13,764	7,073	6,691	245.8	18.8
	19年度	56	715	372	343	1,887	13,030	6,627	6,403	232.7	18.2
	20年度	54	724	363	361	1,858	12,132	6,013	6,119	224.7	16.8
	<b>21年度</b>	<b>54</b>	<b>673</b>	<b>335</b>	<b>338</b>	<b>1,863</b>	<b>10,968</b>	<b>5,226</b>	<b>5,742</b>	<b>203.1</b>	<b>16.3</b>
各種学校	平成17年度	49	276	193	83	356	5,465	2,737	2,728	111.5	19.8
	18年度	49	267	192	75	350	5,090	2,629	2,461	103.9	19.1
	19年度	48	278	185	93	386	5,270	2,803	2,467	109.8	19.0
	20年度	49	276	181	95	384	5,122	2,643	2,479	104.5	18.6
	<b>21年度</b>	<b>48</b>	<b>299</b>	<b>195</b>	<b>104</b>	<b>371</b>	<b>5,002</b>	<b>2,557</b>	<b>2,445</b>	<b>104.2</b>	<b>16.7</b>
大学院・大学 b)	平成17年度	25	7,830	6,808	1,022	9,544	131,614	71,557	60,057	5,264.6	16.8
	18年度	25	7,773	6,714	1,059	9,520	132,639	72,661	59,978	5,305.6	17.1
	19年度	25	7,781	6,708	1,073	10,034	132,925	72,669	60,256	5,317.0	17.1
	20年度	25	8,220	7,045	1,175	10,289	132,897	72,778	60,119	5,315.9	16.2
	<b>21年度</b>	<b>25</b>	<b>8,443</b>	<b>7,205</b>	<b>1,238</b>	<b>10,655</b>	<b>134,076</b>	<b>73,082</b>	<b>60,994</b>	<b>5,363.0</b>	<b>15.9</b>
短期大学 b)	平成17年度	12	256	145	111	1,096	6,817	784	6,033	568.1	26.6
	18年度	13	285	154	131	1,037	6,369	688	5,681	489.9	22.3
	19年度	12	275	148	127	983	5,923	569	5,354	493.6	21.5
	20年度	12	273	143	130	961	5,612	567	5,045	467.7	20.6
	<b>21年度</b>	<b>12</b>	<b>270</b>	<b>140</b>	<b>130</b>	<b>979</b>	<b>5,161</b>	<b>540</b>	<b>4,621</b>	<b>430.1</b>	<b>19.1</b>

注) ( )内は分校の再掲を表します。

a) 平成19年4月1日から盲・ろう・養護学校が特別支援学校に一本化されたため、平成18年度以前の数値は盲・ろう・養護学校の合計値です。

b) 大学院・大学及び短期大学の学校数及び教員数は、京都市内に学校の本部がある大学の校数及び人数です。また、学生数は、京都市内にある学部及び研究科(本部が京都市内にない場合を含む)の人数で、専攻科及び別科の学生並びに聴講生等を含みます。

## 2 幼稚園の状況 —園児数の減少続く—

### (1) 幼稚園数

幼稚園数は、前年度と同数の124園です。

### (2) 教員数(本務者数)

教員の本務者数は1,173人で、前年度に比べて15人(1.3%)増加しています。男女別では、男子教員が80人で8人(11.1%)、女子教員が1,093人で7人(0.6%)、それぞれ増加しています。男女の構成比は、男子教員が6.8%、女子教員が93.2%となっています(表-2(前ページ)参照)。

### (3) 園児数

園児数は16,364人で、前年度に比べて443人(2.6%)減少しています。行政区別にみると、中京区(3.0%増)、上京区(2.3%増)、南区(1.8%増)など5行政区で増加している一方、西京区(5.7%減)、左京区(5.2%減)、伏見区(4.4%減)における園児数の減少が目立ちます(表-3参照)。

なお、小学校1年児童数(11,764人)に対する前年度幼稚園修了者(5,864人)の比率(就園率)は、49.8%となっています。

表-3 行政区別幼稚園数、教員数(本務者)及び園児数

(単位：園数=園、園児数=人)

行政区	平成21年度							平成20年度園児数
	園数	教員数(本務者)	園児数	対前年度増加数	対前年度増加率(%)	1園当たり	1教員(本務者)当たり	
京都市	124	1,173	16,364	△443	△2.6	132.0	14.0	16,807
北 区	9	73	990	4	0.4	110.0	13.6	986
上京区	13	96	1,258	28	2.3	96.8	13.1	1,230
左京区	18	144	1,793	△98	△5.2	99.6	12.5	1,891
中京区	6	59	853	25	3.0	142.2	14.5	828
東山区	5	50	730	—	—	146.0	14.6	730
山科区	10	113	1,454	△52	△3.5	145.4	12.9	1,506
下京区	10	89	1,112	1	0.1	111.2	12.5	1,111
南 区	3	37	507	9	1.8	169.0	13.7	498
右京区	15	170	2,513	△82	△3.2	167.5	14.8	2,595
西京区	14	167	2,749	△167	△5.7	196.4	16.5	2,916
伏見区	21	175	2,405	△111	△4.4	114.5	13.7	2,516

## 3 小学校の状況 —児童数は2年ぶりに減少—

### (1) 学校数

小学校数は、前年度と同数の195校(本校192校、分校3校)です(表-2(前ページ)参照)。

児童数の規模別学校数をみると、前年度に比べて、900人以上の学校が2校減少し、299人以下の学校が4校増加しています(表-4参照)。

### (2) 教員数(本務者数)

教員の本務者数は4,217人で、前年度に比べて1人減少しています。男女の構成比は、男子教員が37.2%、女子教員が62.8%となっています(表-2(前ページ)参照)。

表-4 児童数規模別小学校数

(単位：人、構成比=%)

年 度	総 数	299人 以下	300～ 599人	600～ 899人	900人 以上
平成17年度	195	76	87	29	3
構成比	100.0	39.0	44.6	14.9	1.5
平成18年度	197	74	91	28	4
構成比	100.0	37.6	46.2	14.2	2.0
平成19年度	195	72	91	25	7
構成比	100.0	36.9	46.7	12.8	3.6
平成20年度	195	75	87	26	7
構成比	100.0	38.5	44.6	13.3	3.6
平成21年度	195	79	84	27	5
構成比	100.0	40.5	43.1	13.8	2.6

### (3) 児童数

児童数は 72,539 人で、前年度に比べて 765 人 (1.0%) 減少しています。(表-5 参照)。行政区別にみると、下京区 (1.7%増)、中京区 (0.9%増)、左京区 (0.3%増) の 3 行政区のみで増加しています。児童数が最も多いのは伏見区で 16,112 人、最も少ないのは東山区で 1,537 人となっています。

1 校当たりの児童数をみると、京都市全体では 372.0 人となり、前年度に比べて 3.9 人減少しています。行政区別にみると、最も多いのは西京区で 508.9 人、最も少ないのは東山区で 174.8 人となっています (表-2 (2 ページ) 及び表-5 参照)。

表-5 行政区別小学校数、教員数(本務者)及び児童数

(単位：学校数=校 教員数、児童数=人)

行政区	平成21年度							平成20年度 児童数
	学校数	教員数 (本務者)	児童数	対前年度 増加数	対前年度 増加率 (%)	1校当たり	1教員 (本務者) 当たり	
<b>京都市</b>	<b>195</b>	<b>4,217</b>	<b>72,539</b>	<b>△765</b>	<b>△1.0</b>	<b>372.0</b>	<b>17.2</b>	<b>73,304</b>
北 区	21	418	6,589	△7	△0.1	313.8	15.8	6,596
上京区	9	182	2,824	△78	△2.7	313.8	15.5	2,902
左京区	27	505	8,158	23	0.3	302.1	16.2	8,135
中京区	11	233	4,168	37	0.9	378.9	17.9	4,131
東山区	9	131	1,573	△15	△0.9	174.8	12.0	1,588
山科区	14	365	6,824	△167	△2.4	487.4	18.7	6,991
下京区	11	184	2,584	44	1.7	234.9	14.0	2,540
南 区	13	280	4,557	△38	△0.8	350.5	16.3	4,595
右京区	25	549	9,989	△91	△0.9	399.6	18.2	10,080
西京区	18	473	9,161	△198	△2.1	508.9	19.4	9,359
伏見区	37	897	16,112	△275	△1.7	435.5	18.0	16,387

注) 朱雀第三小学校は、中京区で集計しています。

### (4) 長期欠席児童

平成20年度中の長期欠席児童(30日以上)の欠席者の総数は、病気、不登校及びその他の理由の欠席者がいずれも減少したため、前年度に比べて 264 人(29.8%)減少の 622 人となっています。

全児童に対する割合をみると、長期欠席児童の総数は 0.85% となっており、前年度に比べて 0.36 ポイント低下しています(表-6 参照)。

表-6 30日以上長期欠席児童の状況(小学校)

(単位：人)

	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度
30日以上 長期欠席児童	807	861	916	886	622
理由別					
病 気	375	412	434	392	235
経済的理由	—	—	—	—	—
不 登 校	274	268	250	234	191
そ の 他	158	181	232	260	196
全児童に 対する割合 (%)	1.12	1.18	1.24	1.21	0.85

注) 理由別の「その他」とは、「病気」、「経済的理由」、「不登校」のいずれにも該当しないものをいいます。

例 保護者の教育に関する考え方、無理解、無関心、家族の介護、家事手伝いなどの家庭の事情から欠席している者、外国での長期滞在、国内外への旅行などのため、長期欠席している者

### (5) 帰国児童

平成20年度の帰国児童(海外勤務者等の子供で、引き続き1年を超える期間海外に在留し、帰国した児童)の総数は 64 人で、前年度に比べて 15 人増加しています(表-7 参照)。

表-7 帰国児童の状況(小学校)

(単位：人)

年度	総数	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年
平成16年度	44	7	10	9	9	4	5
17年度	55	4	14	11	10	7	9
18年度	46	12	7	7	5	7	8
19年度	49	9	14	8	11	4	3
<b>20年度</b>	<b>64</b>	<b>12</b>	<b>12</b>	<b>13</b>	<b>9</b>	<b>11</b>	<b>7</b>

#### 4 中学校の状況

##### －生徒数は2年ぶりに増加－

##### (1) 学校数

中学校数は、前年度と同数の102校(本校101校、分校1校)です(表-2(2ページ)参照)。

##### (2) 教員数(本務者数)

教員の本務者数は2,782人で、前年度に比べて58人(2.1%)増加しています。男女の構成比は、男子教員が60.1%、女子教員が39.9%となっています(表-2(2ページ)参照)。

##### (3) 生徒数

生徒数は39,769人で、前年度に比べて736人(1.9%)増加しています。行政区別にみると、東山区と南区を除く9行政区で増加しています。生徒数が最も多いのは伏見区で8,351人、最も少ないのは下京区で1,220人となっています。

1校当たりの生徒数をみると、京都市全体では389.9人で、前年度に比べて7.2人増加しています。行政区別にみると、最も多いのは西京区で504.5人、最も少ないのは東山区で226.7人となっています(表-2(2ページ)及び表-8参照)。

表-8 行政区別中学校数、教員数(本務者)及び児童数

(単位：学校数=校 教員数、生徒数=人)

行政区	平成21年度							平成20年度 生徒数
	学校数	教員数 (本務者)	生徒数	対前年度 増加数	対前年度 増加率 (%)	1校当たり	1教員 (本務者) 当たり	
京都市	102	2,782	39,769	736	1.9	389.9	14.3	39,033
北 区	8	199	3,379	26	0.8	422.4	17.0	3,353
上京区	8	232	3,261	51	1.6	407.6	14.1	3,210
左京区	14	362	4,364	128	3.0	311.7	12.1	4,236
中京区	9	215	2,630	59	2.3	292.2	12.2	2,571
東山区	7	125	1,587	△10	△0.6	226.7	12.7	1,597
山科区	7	205	3,083	145	4.9	440.4	15.0	2,938
下京区	4	102	1,220	27	2.3	305.0	12.0	1,193
南 区	6	177	2,730	△12	△0.4	455.0	15.4	2,742
右京区	14	347	5,128	79	1.6	366.3	14.8	5,049
西京区	8	252	4,036	112	2.9	504.5	16.0	3,924
伏見区	17	566	8,351	131	1.6	491.2	14.8	8,220

##### (4) 長期欠席生徒

平成20年度の長期欠席生徒(30日以上の欠席者)の総数は1,496人で、前年度に比べて39人(2.5%)減少しています。

全生徒に対する割合をみると、長期欠席生徒の総数は3.83%で、前年度に比べて0.09ポイント減少しています(表-9参照)。

表-9 30日以上長期欠席生徒の状況(中学校)

(単位：人)

	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度
30日以上 長期欠席生徒	1,344	1,329	1,410	1,535	1,496
理由別					
病 気	176	200	195	293	263
経済的理由	—	—	—	—	—
不 登 校	1,011	962	982	964	963
そ の 他	157	167	233	278	270
全生徒に 対する割合 (%)	3.50	3.43	3.66	3.92	3.83

注)理由別の「その他」については、表-5の脚注を参照してください。

(5) 帰国生徒

平成20年度の帰国生徒の総数は74人で、前年度に比べて6人(8.8%)増加しています(表-10参照)。

表-10 帰国生徒の状況(中学校)

(単位:人)

年度	総数	1学年	2学年	3学年
平成16年度	23	5	7	11
17年度	19	13	6	—
18年度	24	13	6	5
19年度	68	22	22	24
<b>20年度</b>	<b>74</b>	<b>26</b>	<b>24</b>	<b>24</b>

(6) 卒業後の状況

平成21年3月の中学校の卒業者は12,720人で、前年度に比べて290人(2.2%)減少しています。

卒業後の進路についてみると、高等学校等進学者は12,503人で、前年度に比べて276人(2.2%)減少しています。卒業者に対する構成比(進学率)では98.3%となり、前年度に比べて0.1ポイント上昇しています。

また、通信制課程への進学者を除いた進学者は12,242人で、進学率は96.2%になっています。

専修学校等への進学者は、高等課程及び一般課程合計35人で、前年度から14人増加しています。また、就職者(就職進学者を除く)は42人で、前年度に比べて19人減少しています(表-11参照)。

表-11 中学校卒業後の進路別状況

(単位:人, 構成比=%)

進路	卒業年次		平成17年3月		平成18年3月		平成19年3月		平成20年3月		平成21年3月	
			構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	
総数			12,921	100.0	12,943	100.0	12,713	100.0	13,010	100.0	12,720	100.0
男			6,477	50.1	6,452	49.8	6,362	50.0	6,489	49.9	6,372	50.1
女			6,444	49.9	6,491	50.2	6,351	50.0	6,521	50.1	6,348	49.9
高等学校等進学者総数(A)			12,666	98.0	12,733	98.4	12,469	98.1	12,779	98.2	12,503	98.3
全日制			11,780	91.2	11,851	91.6	11,656	91.7	12,006	92.3	11,705	92.0
定時制			460	3.6	443	3.4	392	3.1	366	2.8	381	3.0
通信制			284	2.2	306	2.4	275	2.2	269	2.1	261	2.1
高等専門学校・特別支援学校			142	1.1	133	1.0	146	1.1	138	1.1	156	1.2
専修学校(高等課程)進学者(B)			15	0.1	8	0.1	7	0.1	11	0.1	23	0.2
専修学校(一般課程)等入学者(C)			16	0.1	3	—	9	0.1	10	0.1	12	0.1
就職者			49	0.4	52	0.4	68	0.5	61	0.5	42	0.3
上記以外の者・その他			175	1.4	147	1.1	160	1.3	149	1.1	140	1.1
(再掲)												
(A)のうち就職者			10	0.1	7	0.1	—	—	—	—	2	0.0
(B)のうち就職者			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(C)のうち就職者			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

注) 専修学校(一般課程)等入学者(C)には、専修学校(一般課程)のほか、各種学校、公共職業訓練施設等の入学者が含まれます。

## 5 高等学校の状況

### —大学等への進学率は過去最高—

#### (1) 学校数

高等学校数は、平成17年度以降、同数の53校です(表-2(2ページ)参照)。内訳は、全日制45校、定時制1校、全日制と定時制の併置校7校となっています。

#### (2) 教員数(本務者数)

教員の本務者数は3,079人で、前年度に比べて11人(0.4%)減少しています。男女の構成比は、男子教員が70.7%、女子教員が29.3%となっています(表-2(2ページ)参照)。

#### (3) 生徒数

高等学校の生徒数は42,390人で、前年度に比べて122人(0.3%)減少しています。男女別の構成比は、男子が50.1%、女子49.9%となっています。

生徒数を学科別にみると、多い順に普通科36,192人(構成比85.4%)、工業に関する学科が1,203人(同2.8%)、以下商業、総合学科、農業、情報の順となっています。前年度に比べて、普通科、農業及び工業に関する学科の生徒数は減少する一方、商業、情報及び総合学科では増加しています。また、課程別では、全日制が40,966人で、全体の96.6%を占めています(表-12参照)。

表-12 高等学校課程及び学科別生徒数

(単位：人，構成比＝%)

課 程	総 数			普通科	普通科以外の学科						
	総 数	男	女		農 業	工 業	商 業	情 報	その他	総 合 学 科	
平成21年度											
総 数	42,390	21,258	21,132	36,192	320	1,203	782	224	3,055	614	
構成比	100.0	50.1	49.9	85.4	0.8	2.8	1.8	0.5	7.2	1.4	
全日制	40,966	20,344	20,622	35,100	320	971	682	224	3,055	614	
構成比	96.6	48.0	48.6	82.8	0.8	2.3	1.6	0.5	7.2	1.4	
定時制	1,424	914	510	1,092	—	232	100	—	—	—	
構成比	3.4	2.2	1.2	2.6	—	0.5	0.2	—	—	—	
平成20年度											
総 数	42,512	21,275	21,237	36,579	322	1,293	692	221	2,844	561	
全日制	41,061	20,328	20,733	35,505	322	1,012	596	221	2,844	561	
定時制	1,451	947	504	1,074	—	281	96	—	—	—	

注) 農業(農業に関する学科)は農業関係、園芸関係及び林業関係、工業(工業に関する学科)は機械関係、電気関係及び建築関係など、商業(商業に関する学科)は商業関係及び会計関係、情報(情報に関する学科)は情報システム設計関係、その他は外国語関係、音楽・美術関係などの学科をいいます。また、各構成比は総数に対する割合です。

#### (4) 卒業後の状況

平成21年3月の高等学校の卒業者は13,576人で、前年度に比べて145人(1.1%)減少しています。

卒業後の進路についてみると、大学等進学者が9,367人で、前年度に比べて103人(1.1%)増加しています。内訳は、大学(学部)8,473人、短期大学(本科)883人、大学・短期大学の通信教育部への進学者9人、同じく別科への進学者2人となっています。大学等への進学率(大学等進学者の卒業者総数に占める割合)は69.0%となり、前年度の67.5%を上回り過去最高となっています。男女別にみると、男子は65.4%、女子は72.5%となっており、女子の進学率が男子の進学率を上回っています。

専修学校等への進学者を課程別にみると、専修学校(専門課程)は1,328人で、前年度に比べて106人(7.4%)減少しています。専修学校(一般課程)等への入学者は1,115人で、前年度から30人

(2.6%)減少しています。

就職者は872人で、前年度に比べて116人(11.7%)減少し、就職率(就職者の卒業者総数に占める割合)も6.4%と、前年度に比べて0.8ポイント減少しています。

一時的な仕事に就いた者は220人(構成比1.6%)で、その他は651人(同4.8%)となっています(表-13、図-2及び図-3(次ページ)参照)。

就職者を産業別にみると、「製造業」が348人(構成比39.7%)と最も多くなっています。次いで「卸売業、小売業」(144人、16.4%)、「宿泊業、飲食サービス業」(73人、8.3%)となっています。男女別では、男子は「製造業」、「建設業」、「卸売業、小売業」の順に多く、女子は「製造業」、「卸売業、小売業」、「宿泊業、飲食サービス業」の順に多くなっています(表-14(9ページ)参照)。

表-13 高等学校卒業後の進路別状況

(単位：人数＝人，構成比＝%)

進路	平成21年3月				平成20年3月			
	総数	構成比	男	女	総数	構成比	男	女
卒業生総数	13,576	100.0	6,717	6,859	13,721	100.0	6,873	6,848
大学等進学者総数 (A)	9,367	69.0	4,396	4,971	9,264	67.5	4,390	4,874
大学等への進学率 (%)	69.0		65.4	72.5	67.5		63.9	71.2
専修学校 (専門課程進学者) (B)	1,328	9.8	482	846	1,434	10.5	561	873
専修学校 (一般課程) 等入学者 (C)	1,115	8.2	846	269	1,145	8.3	886	259
公共職業能力開発施設等入学者 (D)	23	0.2	20	3	34	0.2	24	10
就職者 (上記A・B・C・Dを除く)	872	6.4	537	335	988	7.2	605	383
一時的な仕事に就いた者	220	1.6	103	117	225	1.6	82	143
上記以外の者	651	4.8	333	318	631	4.6	325	306
(再掲)								
(A)のうち就職者	—	—	—	—	1	0.0	1	—
(B)のうち就職者	3	0.0	—	3	—	—	—	—
(C)のうち就職者	1	0.0	1	—	—	—	—	—

図-2 高等学校卒業後の進路別状況の推移

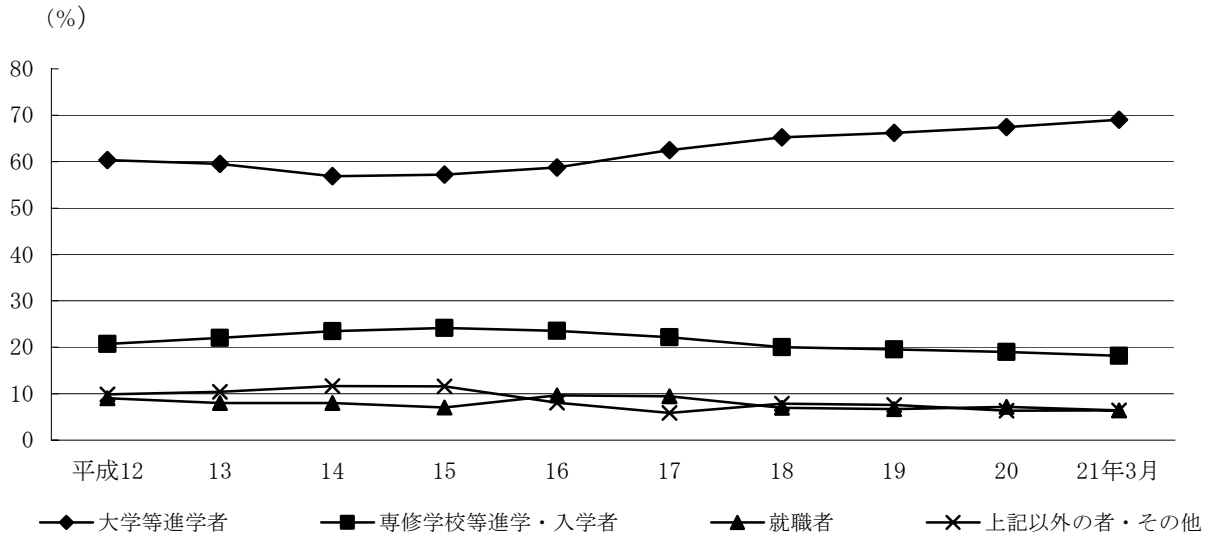


図-3 男女別高等学校卒業後の進路状況

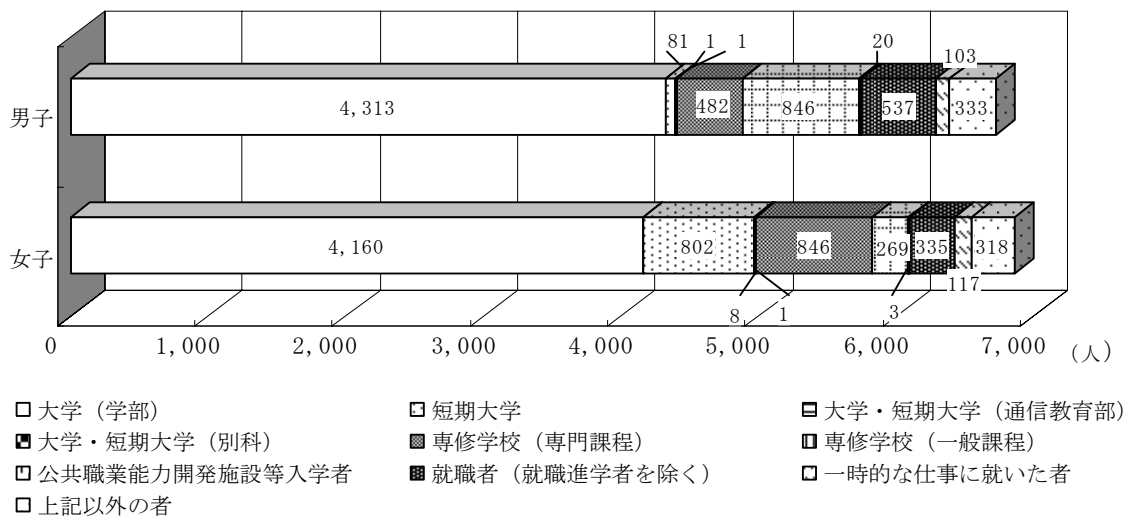




表-14 産業別就業者数（就職進学者を含む）

(単位：人)

平成21年3月

産 業	総 数		男		女	
		構成比 (%)		構成比 (%)		構成比 (%)
総 数	876	100.0	538	100.0	338	100.0
農業，林業	2	0.2	2	0.4	—	—
漁業	—	—	—	—	—	—
鉱業，採石業，砂利採取業	—	—	—	—	—	—
建設業	62	7.1	58	10.8	4	1.2
製造業	348	39.7	257	47.8	91	26.9
電気・ガス・熱供給・水道業	16	1.8	14	2.6	2	0.6
情報通信業	11	1.3	4	0.7	7	2.1
運輸業，郵便業	56	6.4	38	7.1	18	5.3
卸売業，小売業	144	16.4	56	10.4	88	26.0
金融業，保険業	8	0.9	1	0.2	7	2.1
不動産業，物品賃貸業	2	0.2	—	—	2	0.6
学術研究，専門・技術サービス業	10	1.1	6	1.1	4	1.2
宿泊業，飲食サービス業	73	8.3	32	5.9	41	12.1
生活関連サービス業，娯楽業	24	2.7	8	1.5	16	4.7
教育・学習支援	10	1.1	5	0.9	5	1.5
医療・福祉	32	3.7	7	1.3	25	7.4
複合サービス	1	0.1	—	—	1	0.3
サービス業	38	4.3	23	4.3	15	4.4
公務（他に分類されないもの）	29	3.3	23	4.3	6	1.8
上記以外のもの	10	1.1	4	0.7	6	1.8

## 6 特別支援学校，専修学校及び各種学校の状況

### (1) 特別支援学校

特別支援学校数は，平成17年度以降，同数の11校です。教員の本務者数は884人，在籍する生徒等は1,288人で，前年度に比べてそれぞれ37人(4.4%)，32人(2.5%)増加しています(表-2(2ページ)参照)。

### (2) 専修学校及び各種学校

専修学校の学校数は54校，各種学校は48校です。専修学校は前年度と同数で，各種学校は前年度から1校減少しました。また，各学校に在籍する生徒数は，それぞれ10,968人，5,002人で，いずれも前年度から減少しています(表-2(2ページ)参照)。

## III 大学院，大学，短期大学の状況

### 1 学校数，教員数及び学生数

#### (1) 大学院・大学

##### —女子学生数が増加—

学校数は，前年度と同数の25校です。

教員の本務者数は8,443人で，前年度に比べて223人(2.7%)増加しています。学生数は134,076人で，前年度に比べて1,179人(0.9%)増加しています。男女別では，男子が73,082人で304人(0.4%)増加し，女子が60,994人で875人(1.5%)増加しています。また，男女の構成比は，男子54.5%，女子45.5%となっています(表-2(2ページ)参照)。

学生数のうち，大学院の学生数は16,751人で，前年度と比べて13人(0.1%)増加しています。また，男女の構成比は，男子が68.2%，女子が31.8%となっています。

大学の学部の学生数は113,045人で，前年度と比べて1,205人(1.1%)増加しています。また，男女の構成比は，男子が52.3%，女子が47.7%となっています(表-15(次ページ)参照)。

表－15 大学院及び大学の学生数

(単位：人)

種別, 年度	学生数			
	総数	男	女	
大学院	平成17年度	16,494	11,445	5,049
	18年度	16,876	11,664	5,212
	19年度	16,793	11,518	5,275
	20年度	16,738	11,472	5,266
	<b>21年度</b>	<b>16,751</b>	<b>11,428</b>	<b>5,323</b>
大学(学部)	平成17年度	110,270	57,359	52,911
	18年度	110,126	57,588	52,538
	19年度	111,279	58,317	52,962
	20年度	111,840	58,798	53,042
	<b>21年度</b>	<b>113,045</b>	<b>59,145</b>	<b>53,900</b>

注) 専攻科, 別科の学生及び聴講生等は含まれません。

(2) 短期大学

－学生数の減少続く－

学校数は, 前年度と同数の12校です。

教員の本務者数は270人で, 前年度に比べて3人(1.1%)減少しています。

学生数は5,161人で, 前年度に比べて451人(8.0%)減少し, 15年連続の減少となっています。男女別では, 男子が540人で27人(4.8%)減少し, 11年連続の減少となっています。女子は4,621人で424人(8.4%)減少し, 15年連続の減少となっています。男女別の構成比は, 男子は10.5%, 女子は89.5%となっています(表－2(2ページ)参照)。

いて, その出身高校を所在地府県別にみると, 構成比が高い順に京都府(22.3%), 大阪府(19.3%), 滋賀県(9.0%)の順となっており, この3府県で全体のほぼ半数(50.5%)を占めています。

大学の設置者別にみると, 国立(国立大学法人及び独立行政法人国立高等専門学校機構が設置した学校をいう。)は大阪府, 京都府, 兵庫県の順, 公立は京都府, 大阪府, 兵庫県の順, 私立は京都府, 大阪府, 滋賀県の順となっています(表－16参照)。

(2) 短期大学

平成21年度に入学した学生(2,374人)について, その出身高校を所在地府県別にみると, 構成比が高い順に京都府(37.2%), 滋賀県(16.6%), 大阪府(13.4%)の順になっており, この3府県で全体の3分の2以上(67.3%)を占めています。(表－16参照)。

2 出身高校の所在地都道府県別入学者

(1) 大学

平成21年度に入学した学生(25,047人)につ

表－16 出身高校の所在地都道府県別入学者数

(単位：人)

都道府県 設置者	総数	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位	第9位	第10位
		京都	大阪	滋賀	兵庫	奈良	愛知	外国, 専修等 a)	広島	三重	福岡
<b>大学入学者総数</b>	<b>25,047</b>	<b>5,575</b>	<b>4,844</b>	<b>2,242</b>	<b>2,112</b>	<b>1,218</b>	<b>728</b>	<b>640</b>	<b>582</b>	<b>527</b>	<b>420</b>
構成比(%)	100.0	22.3	19.3	9.0	8.4	4.9	2.9	2.6	2.3	2.1	1.7
国立	3,931	619	782	165	473	311	201	70	114	74	102
公立	812	280	145	58	87	37	26	2	11	12	5
私立	20,304	4,676	3,917	2,019	1,552	870	501	568	457	441	313

都道府県 設置者	総数	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位	第9位	第10位
		京都	滋賀	大阪	奈良	兵庫	外国, 専修等 a)	福井	和歌山	石川	岡山
<b>短大入学者総数</b>	<b>2,374</b>	<b>883</b>	<b>395</b>	<b>319</b>	<b>95</b>	<b>91</b>	<b>87</b>	<b>63</b>	<b>44</b>	<b>38</b>	<b>26</b>
構成比(%)	100.0	37.2	16.6	13.4	4.0	3.8	3.7	2.7	1.9	1.6	1.1
国立	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
公立	50	29	1	4	—	6	—	—	1	—	—
私立	2,324	854	394	315	95	85	87	63	43	38	26

a) 「外国, 専修等」は, 外国の学校を卒業した者, 専修学校高等課程を卒業した者, 高等学校卒業程度認定試験に合格した者などをいいます。

### 3 卒業後の状況

#### —大学・大学院卒業者の進路は就職者が増加—

#### (1) 大学院

平成21年3月の大学院卒業者は6,479人で、前年度に比べて252人(4.0%)増加しています。

進路別内訳をみると、進学者は788人(構成比12.2%)、就職者は4,077人(同62.9%)となっています。前年度に比べて、進学者は40人(4.8%)減少し、就職者は282人(7.4%)増加しています(表-17参照)。

#### (2) 大学

大学卒業者は28,972人で、前年度に比べて2,575人(9.8%)増加しています。

進路別内訳をみると、大学院等への進学者は4,240人(構成比14.6%)、就職者は19,440人(同67.1%)となっています。前年度に比べて、進学者は532人(14.3%)、就職者は1,536人(8.6%)それぞれ増加しています(表-17参照)。

#### (3) 短期大学

短期大学卒業者は2,541人で、前年度に比べて80人(3.1%)減少しています。

進路別内訳をみると、進学者は450人(構成比17.7%)で、就職者は1,483人(同58.4%)となっています。前年度に比べて、進学者は31人(6.4%)、就職者は111人(7.0%)減少しています(表-17参照)。

## IV 外国人学生及び留学生の状況

#### —中国からの留学生が半数以上を占める—

#### (1) 概要

京都市に本部のある大学院、大学、短期大学に在籍する外国人学生は6,191人で、そのうち留学生は5,065人となっています。

平成17年度からの推移をみますと、外国人学生と留学生の総数は年々増加する傾向にあります(表-18参照)。

表-17 大学院、大学及び短期大学の進路別内訳

(単位：人)

区 分	卒 業 者			
	総 数	大学院等への進学者	就職者	その他 a)
大学院				
17年3月	5,523	891	3,302	1,330
18年3月	6,092	901	3,571	1,620
19年3月	6,442	810	3,851	1,781
20年3月	6,227	828	3,795	1,604
<b>21年3月</b>	<b>6,479</b>	<b>788</b>	<b>4,077</b>	<b>1,614</b>
大 学				
17年3月	27,682	4,111	15,541	8,030
18年3月	27,517	4,189	16,450	6,878
19年3月	26,963	4,101	17,488	5,374
20年3月	26,397	3,708	17,904	4,785
<b>21年3月</b>	<b>28,972</b>	<b>4,240</b>	<b>19,440</b>	<b>5,292</b>
短期大学				
17年3月	3,294	568	1,700	1,026
18年3月	3,080	550	1,742	788
19年3月	2,836	520	1,636	680
20年3月	2,621	481	1,594	546
<b>21年3月</b>	<b>2,541</b>	<b>450</b>	<b>1,483</b>	<b>608</b>

a) 専修学校・外国の学校などに入学した者、一時的な仕事に就いた者を含みます。

表-18 大学院、大学及び短期大学に在籍する外国人学生及び留学生

(単位：人)

年 度	外 国 人 学 生			
	総 数	大学院	大 学	短期大学
平成17年度	5,250	1,816	3,281	153
18年度	5,264	1,866	3,237	161
19年度	5,499	2,045	3,334	120
20年度	5,778	2,165	3,508	105
<b>21年度</b>	<b>6,191</b>	<b>2,408</b>	<b>3,681</b>	<b>102</b>
年 度	う ち 留 学 生			
	総 数	大学院	大 学	短期大学
平成17年度	4,231	1,714	2,411	106
18年度	4,311	1,793	2,410	108
19年度	4,513	1,965	2,473	75
20年度	4,688	2,040	2,592	56
<b>21年度</b>	<b>5,065</b>	<b>2,274</b>	<b>2,720</b>	<b>71</b>

## (2) 大学院

大学院に在籍する外国人学生は2,408人で、そのうち留学生は2,274人となっています。前年度に比べて、外国人学生は243人(11.2%)、留学生は234人(11.5%)増加しています。

留学生総数を国費(日本政府から奨学金を支給されている者。以下同じ)・私費(国費以外の者。以下同じ)別にみますと、国費が625人(構成比27.5%)、私費が1,649人(同72.5%)となっています。国籍別にみますと、多い順に中国が1,176人(同51.7%)、韓国・朝鮮が320人(同14.1%)、ベトナムが83人(同3.6%)となっています。また、専攻科・別科、聴講生・研究生等を除いた関係学科別内訳では、多い順に工学が540人(構成比26.8%)、社会科学が538人(同26.7%)、人文科学が233人(同11.6%)となっています(表-18(前ページ)、19及び20(次ページ)参照)。

## (3) 大学

大学に在籍する外国人学生は3,681人で、そのうち留学生は2,720人となっています。前年度に比べて、外国人学生は173人(4.9%)、留学生は128人(4.9%)増加しています。

留学生総数を国費・私費別にみますと、国費が87人(構成比3.2%)、私費が2,633人(同96.8%)となっています。国籍別にみますと、多い順に中国が1,440人(同52.9%)、韓国・朝鮮が658人(同24.2%)と続き、この2国からの留学生で総数の4分の3以上を占めています。

また、関係学科別内訳では、多い順に社会科学が806人(構成比43.2%)、人文科学が280人(同15.0%)、工学が262人(14.0%)となっています(表-18(前ページ)、19及び20(次ページ)参照)。

## (4) 短期大学

短期大学に在学する外国人学生は102人で、そのうち留学生は71人となっています。前年度に比べて、外国人学生は3人(2.9%)減少し、留学生は15人(26.8%)増加しています。

留学生総数を国籍別にみますと、中国が62人(同87.3%)と大半を占めています。また、関係学科別内訳では、社会科学が64人(構成比90.1%)となっています(表-18(前ページ)、19及び20(次ページ)参照)。

表-19 大学院・大学・短期大学に在籍する留学生

	平成21年度								
	大学院			大 学			短期大学		
	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女
留学生数									
総 数	2,274	1,167	1,107	2,720	1,226	1,494	71	38	33
国 立	1,196	699	497	378	204	174	—	—	—
公 立	67	29	38	22	6	16	—	—	—
私 立	1,011	439	572	2,320	1,016	1,304	71	38	33
(再掲)国費・私費別									
国 費	625	381	244	87	52	35	—	—	—
私 費	1,649	786	863	2,633	1,174	1,459	71	38	33
留学生以外の外国人									
総 数	134	65	69	961	508	453	31	7	24
国 立	14	5	9	5	2	3	—	—	—
公 立	—	—	—	8	5	3	—	—	—
私 立	120	60	60	948	501	447	31	7	24

表-20 国籍，学科別外国人学生及び留学生（大学院，大学及び短期大学）

(単位：人)

国	籍	平成 21年 総数	関係学科(学部)												専攻科 ・別科	聴講生・ 研究生等	平成 20年 総数	
			計	人文 科学	社会 科学	理学	工学	農学	保健		家政	教育	芸術	その他				
									医・ 歯学	その他								
外国 人 学 生	大 学 院	総数	2,408	2,107	256	571	61	548	82	71	41	—	41	87	349	—	301	2,165
		中国	1,221	1,082	115	383	12	208	36	33	23	—	26	33	213	—	139	1,061
		韓国・朝鮮	379	343	72	91	5	76	6	4	3	—	7	41	38	—	36	350
		ベトナム	84	79	2	9	2	45	1	1	1	—	4	—	14	—	5	85
		タイ	81	69	4	7	3	38	4	2	4	—	—	—	7	—	12	75
		インドネシア	72	69	10	10	2	24	10	2	—	—	—	—	11	—	3	64
	その他	571	465	53	71	37	157	25	29	10	—	4	13	66	—	106	530	
	大 学	総数	3,681	2,765	533	1,252	22	330	11	9	27	6	18	193	364	140	776	3,508
		中国	1,621	1,313	250	641	11	159	5	2	6	—	10	45	184	97	211	1,640
		韓国・朝鮮	1,360	1,244	232	570	8	100	4	7	18	6	7	134	158	16	100	1,209
		アメリカ	194	8	6	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	6	180	165
		タイ	44	24	3	5	2	10	1	—	—	—	—	2	1	2	18	69
		ベトナム	38	25	2	3	—	15	—	—	1	—	—	1	3	1	12	38
	その他	424	151	40	33	1	46	1	—	2	—	1	10	17	18	255	387	
	短 期 大 学	総数	102	102	19	71	—	—	—	—	—	7	2	3	—	—	—	105
		中国	66	66	5	57	—	—	—	—	—	3	—	1	—	—	—	45
		韓国・朝鮮	21	21	8	5	—	—	—	—	—	4	2	2	—	—	—	43
		ブラジル	4	4	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5
ベトナム		3	3	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	
その他		8	8	2	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10	
うち 留 学 生	大 学 院	総数	2,274	2,013	233	538	60	540	81	71	39	—	39	87	325	—	261	2,040
		中国	1,176	1,052	109	372	11	204	36	33	23	—	26	33	205	—	124	1,022
		韓国・朝鮮	320	292	58	69	5	72	6	4	2	—	6	41	29	—	28	293
		ベトナム	83	79	2	9	2	45	1	1	1	—	4	—	14	—	4	82
		タイ	76	67	4	7	3	38	4	2	3	—	—	—	6	—	9	75
		インドネシア	70	68	9	10	2	24	10	2	—	—	—	—	11	—	2	64
	その他	549	455	51	71	37	157	24	29	10	—	3	13	60	—	94	504	
	大 学	総数	2,720	1,867	280	806	7	262	11	1	6	—	11	188	295	135	718	2,592
		中国	1,440	1,145	184	573	5	147	5	1	4	—	10	45	171	95	200	1,467
		韓国・朝鮮	658	552	69	197	—	46	4	—	—	—	1	129	106	14	92	535
		アメリカ	159	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	6	151	131
		ドイツ	38	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	36	68
		マレーシア	35	33	3	1	—	23	—	—	—	—	—	3	3	1	1	34
	その他	390	134	23	35	2	46	2	—	2	—	—	9	15	18	238	357	
	短 期 大 学	総数	71	71	4	64	—	—	—	—	—	2	—	1	—	—	—	56
		中国	62	62	4	55	—	—	—	—	—	2	—	1	—	—	—	43
		ベトナム	3	3	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
		その他	6	6	—	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11

注) 短期大学の「人文科学」，「社会科学」，「農学」は,それぞれ「人文」，「社会」，「農業」と読み替えます。